

Rotary



今年度の活動方針と 本日の内容、進め方

2019年8月24日
クラブ職業奉仕委員長会議

2660地区 職業奉仕委員会
2019-20年度委員長 山崎修一



本日の目的、テーマ

→ 職業奉仕活動の実践に当たって「大切なこと」とは？

さまざまな職業奉仕活動を実践する際に「大切なこと」は何でしょうか。

いろいろな考え方があってよいのですが、
「**ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・**」
という視点は、欠かせないのではないのでしょうか。

そして「ロータリーの職業奉仕」と言える視点の中に「四つのテスト」「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」などの基本理念や、「内なる人づくり」「外なる人づくり」と言った考え方が含まれるのです。

この後すぐ、二つの職業奉仕活動の事例紹介がありますが、この「**ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・**」の視点を念頭においてお聞きいただきたいと思います。
また、討論においても各クラブからこの点についてご発表をいただきます。今回のテーマはこの1点に絞ります。
よろしくお願いいたします。

本年度の活動方針

地区協議会

活動方針 1

各クラブ職業奉仕委員長に
職業奉仕に関する理解を深めていただく支援

各クラブ職業奉仕委員長 ↔ 支援

本日！

活動方針 2

各クラブの職業奉仕委員長が
実践すべき卓話、フォーラムその他の活動支援

本年度の活動計画

計画1 『職業奉仕 卓話モデル』作成

計画2 『職業奉仕活動 実践の手引き』作成

計画3 ホームページ掲載資料の告知

計画4 クラブ個別支援

職業奉仕 卓話モデル

11月上旬に

Rotary 

卓話モデル その1

ロータリーの職業奉仕
知っておきたい 四大用語

- ロータリーの樹
- 超我の奉仕 ⇔ 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる
- 四つのテスト
- 人づいて自分

地区協議会
11月上旬に

Rotary 

卓話モデル その2

ロータリーの職業奉仕
歴史と変遷

卓話モデル その3

Rotary 

「ロータリーの根幹」
としての職業奉仕とは？



地区協議会
11月上旬に

『職業奉仕活動 実践の手引き ～ポイント集～』

はじめに

ポイント1 職業奉仕活動の種類と分類

- ポイント1-1 職業奉仕活動の種類と人づくり
- ポイント1-2 他の奉仕との関係
- ポイント1-3 その他の職業奉仕活動の開発

ポイント2 職業奉仕活動の実践にあたって「大切なこと」

- ポイント2-1 「大切なこと」とは？
- ポイント2-2 「大切なこと」を事例で考えてみましょう！

ポイント3 職業奉仕活動の計画策定と振り返り

- ポイント3-1 計画策定と振り返りの手順
- ポイント3-2 訪問先等の選定
- ポイント3-3 ノウハウ等の蓄積と共有
- ポイント3-4 職業奉仕活動の「計画振り返りシート」 ひな型

おわりに ～職業奉仕活動を実りあるものにするために～

参考 職業奉仕活動事例

ロータリーの樹



「幹」の意味は？

・・・職業奉仕とは、職業を通して社会のニーズをほぼ完全な形で満たせるよう努力を重ねるということです。それによって、**自己の職業の品位と道德水準を高め、社会から尊重される存在にすることが出来る**のです。また、それによって**日々の奉仕活動が行いやすくなり、効果も向上する**筈です。

ここで大事なことは、ロータリアンは**日々の仕事を通して生きる力の根本である自らの道德的能力を高め、それを社会に反映させることを使命と考えて努力している**ということです。すなわち、ロータリアンは**日常の職業活動を通して、自分の職場の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人たちの模範となり、生きる力の根源である道德的能力を向上させることに努めている**のです。このような仕事の仕方をロータリーでは、職業奉仕と呼んでいます。皆さんが真のロータリアンであるか否かは、皆さん自身とその職場が社会の規範となるように努力することを自己の使命と考えているか否かにかかっているのです。

・・・

『ロータリーの心と実践 2015年版』より抜粋
(2015年3月 国際ロータリー第2660地区 研修委員会)

たとえば、職場見学では？

- 見学先の経営者や工場の現場社員は、どのような考え方（仕事に対する姿勢、社会貢献への思い、職業観、やりがい）を持って働いているのだろうか。
- 経営者は、顧客に満足していただくためにどのような「こだわり」を持って、日々取り組んでいるのだろうか。
- そこで学び感じたことを、自分たちロータリアンの会社の経営、仕事にどのように活かしていけば自分自身の道徳的能力の向上、あるいは部下の成長につながるのだろうか。

たとえば、職場体験では？

職場体験は、ロータリアンやその周辺の方々の職業現場において、主として青少年に対して、働くことを体験してもらう場を提供する活動です。

- 青少年が、働くことの意味、礼儀作法、協働の大切さ、社会貢献への意識などを体で感じ、一人ひとりの将来に対する夢や希望、目標、働きがい、生きがいにプラスの効果をもたらす機会になっているだろうか。
- そういった機会を提供したロータリアン自身も、青少年と時と場をともにすることによって、若者からエネルギーをもらい、彼らの考え方、ものの見方を学び、自らの職業に役立っているだろうか。

たとえば、出前授業では？

出前授業は、ロータリアンが自らの職業を通じ、事業生活の中で青少年を育成するという奉仕の理念に基づき、幼稚園から大学までの学校に出かけて行って授業を行うものです。

ロータリー会員は、それぞれの職場で、苦労を重ねて今日の経営基盤を築いて来られた方達です。生々しい苦労話を、若者たちに直接語りかけることで、話の一つずつが、若者たちにとっては、大きな糧として、刻まれることでしょう。心がけねばならないのは、若者たちに、真摯に向かい合う事により、私達ロータリアン自身も、同時に研修を行っているのだという意識が必要だと思います。例えば、出前授業においては、若者たちとの会話の中で、ロータリアン自身も、学び（研修）の時間を共有していたのであり、その中から、ロータリアン自身にとっても、経営の新たなヒントが見出されるかも知れない、また新たな出発点となりうるという事を考える事が望ましいでしょう。

（『ロータリーの職業奉仕入門（Q&A）【2018年改訂版】』より抜粋

最後に、卓話やフォーラムでは？

- ロータリーの職業奉仕に関する基本理念はどういったものか
- ロータリーの職業奉仕はどのような歴史、変遷を辿ってきたか
- 自らの会社の経営に職業奉仕の理念をいかに活かしてきたか
- 昨今の企業不祥事は、職業奉仕の視点からはどのように捉えられることができるだろうか
- 種々のテーマの卓話、フォーラムは、自分たちにとってどのように役立ったか
- 自らの職場や業界、地域で役立てるためにどのような行動を実践しているか、また今後すればよいだろうか
- 自分たちが実践してきた職業奉仕に関する活動は、ロータリーの職業奉仕の理念にどのようにつながっているのだろうか。

本日のグループ討論の進め方

- 1 およそ6クラブずつ、12のグループに分かれております。
- 2 司会（グループリーダー）は、地区職業奉仕委員が務めます。
- 3 まず、自分のクラブの職業奉仕活動について簡潔に説明をしてください。
- 4 活動について、「ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・」の視点をどのように織り込んでいるか、発表をお願いいたします。
- 5 説明が一巡いたしましたら、質疑応答、討論に入ってください。他のクラブの活動に対する質問、自分のクラブの進め方に対する質問、また、「ロータリーの職業奉仕と言えるためには・・・」に対する議論など、積極的な討論をお願いいたします。
- 6 質問等については、可能な限りメンバー同士の回答、議論をお願いいたします。
- 7 今回の各グループの議論の内容は、簡潔にまとめて10月にはフィードバックする予定です。